

アジア・ヘルスケア株式ファンド

アジア・ヘルスケア企業の決算について(インド・中国)

- ◆ 経済発展を背景とした医療市場の拡大に伴ない、アジアのヘルスケア企業の業績は拡大傾向が続いています。足元では、不安定な外部環境の影響などを受け、株価の調整はみられるものの、同地域のヘルスケアセクターが大きな成長余地を有していることに変化はなく、アジアのヘルスケア株式は、引き続き、魅力的な投資対象と考えられます。
- ◆ 当資料では、アジアのヘルスケア市場の中でも市場規模の大きいインドおよび中国の企業の中から、当ファンドが注目する企業の2016年1-3月期\*の決算内容についてご紹介いたします。

\* 企業の開示上の理由により、一部異なる期間の決算内容を掲載しています。

アジア・ヘルスケア企業の決算①(2016年1-3月期)

ルピン

LUPIN LTD

業種：医薬品

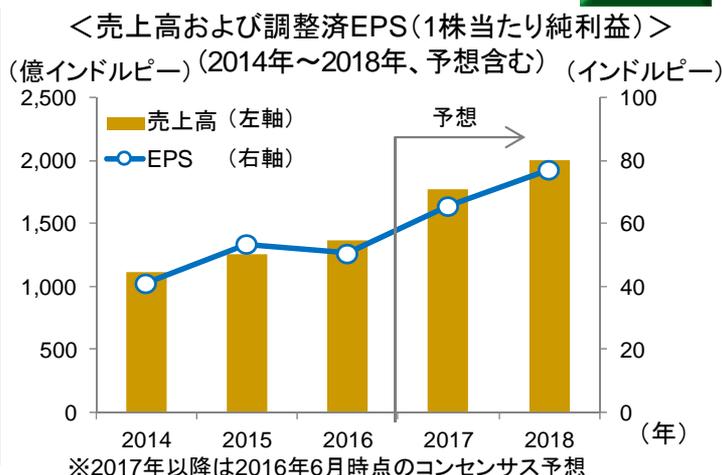
インド



売上高 (前年同期比) **+34.0%**      純利益 (前年同期比) **+47.5%**

2016年1-3月期の売上高は市場予想を上回り、純利益は市場予想を大幅に上回りました。約半年間の独占販売権を得た糖尿病治療薬の販売などが予想以上に好調となったことが寄与しました。しかし、堅調な業績の一方で、FDA(米食品医薬品局)が一部の製造工場の安全面に係る指摘を行なったことにより生じた不透明感から、株価は下落しました。

今後は、米国で申請中の新たな後発薬の承認や既存製品のシェア拡大の可能性などが注目されます。



オーロビンド・ファーマ AUROBINDO PHARMA LTD

業種：医薬品

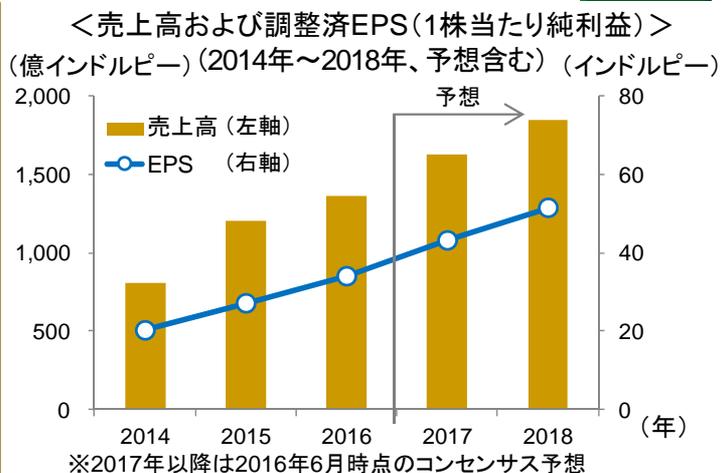
インド



売上高 (前年同期比) **+16.9%**      純利益 (前年同期比) **+39.4%**

2016年1-3月期の売上高は市場予想を若干下回ったものの、純利益は概ね市場予想通りとなりました。主力市場である米国において、経口薬や注射剤の新製品および栄養補助食品の売上が好調であったほか、欧州市場における想定以上の業績改善が研究開発費の増加を相殺する格好となりました。

なお、FDAによる承認促進やシェア拡大などが米国市場における著しい成長の原動力となっており、今後は市場規模の拡大によるメリットの享受や商品ラインナップの拡充なども業績の押し上げに寄与していくと見込まれます。



※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※売上高およびEPSは各企業の会計年度末の値(インド:3月末、中国:12月末)

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

信頼できると判断したデータをもとに

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメントが作成

■ 当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ヘルスケア株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## アジア・ヘルスケア企業の決算②(2016年1-3月期)

**シプラ** CIPLA LTD

業種：医薬品

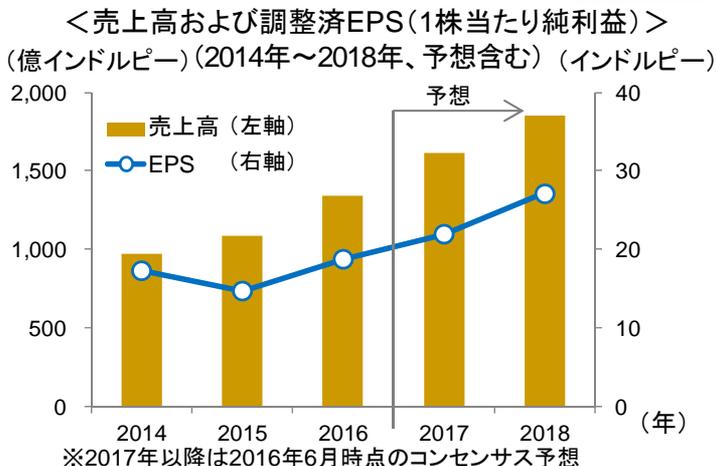
インド



**売上高** (前年同期比) **+5.6%**      **純利益** (前年同期比) **-68.9%**

2016年1-3月期は、売上高が市場予想を下回ったほか、純利益は市場予想を大幅に下回る結果となりました。在庫償却、研究開発費の増加などの一時的な費用の影響のほか、主力事業であるジェネリック医薬品の海外市場における成長鈍化が、業績の足かせとなり、株価にも影響がみられました。

同社は現在、ビジネスモデルの改革中で、米国向けの営業体制の改善、製品の拡充などに取り組んでいます。一定の時間を要するとみられるものの、米国における成長余地が大きい企業として注目されます。



**シノファーム・グループ** SINOPHARM GROUP CO-H

業種：ヘルスケア・プロバイダー/  
ヘルスケア・サービス

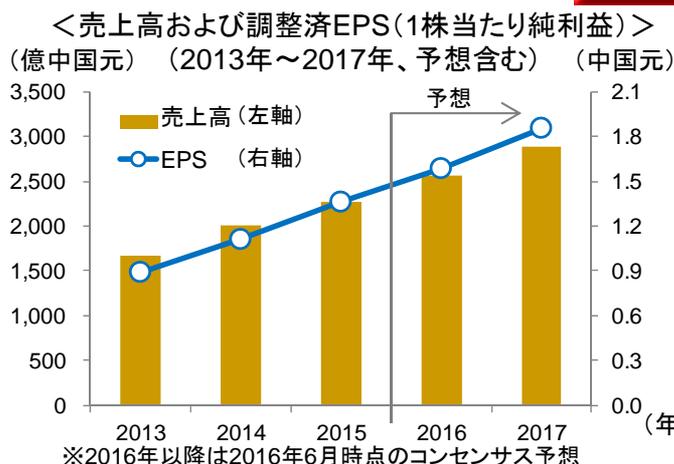
中国 (香港市場)



**売上高** (前年同期比) **+13.5%**      **純利益** (前年同期比) **+13.9%**

2016年1-3月期の売上高および純利益は前年同期比で大幅に増加しました。収益の大部分を占める医薬品の販売事業のほか、薬局事業が引き続き好調でした。また、利益率の上昇や営業キャッシュフローの改善など、利益の質が改善傾向にあり、株価の押し上げ要因となっています。

中国最大級の医薬品販売会社である同社は、中国全土にまたがるネットワークを活かすことで、業界平均を超える利益成長が可能と考えられます。



**石薬集団** CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LTD

業種：医薬品

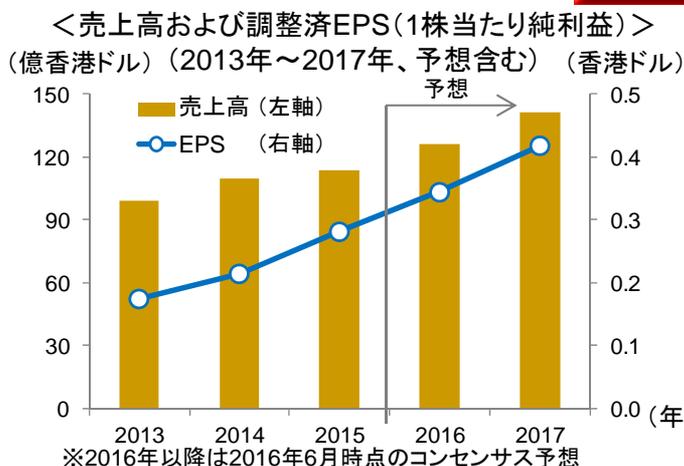
中国 (香港市場)



**売上高** (前年同期比) **+7.6%**      **純利益** (前年同期比) **+26.3%**

2016年1-3月期の売上高は市場予想をやや下回ったものの、純利益は市場予想を上回りました。利益率の高い新薬(脳卒中、認知症、高血圧など)の収益が非常に好調で、利益率の改善がみられています。

同社は、利益率の高い分野に注力しており、今後、患者数の多い疾患向けの主力商品や、開発の最終段階にある豊富なパイプライン\*の収益への貢献が注目されます。\*新薬誕生に結びつく開発中の医薬品候補(新薬候補)



※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。 ※売上高およびEPSは各企業の会計年度末の値(インド:3月末、中国:12月末)  
 ※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。 信頼できると判断したデータをもとに  
 ※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。 日興アセットマネジメントが作成

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ヘルスケア株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## アジア・ヘルスケア企業の決算③(2015年度)

チャイナ・メディカル・システム

CHINA MEDICAL  
SYSTEM HOLDING

業種：医薬品

中国（香港市場）



売上高  
(前年比)

+20.7%

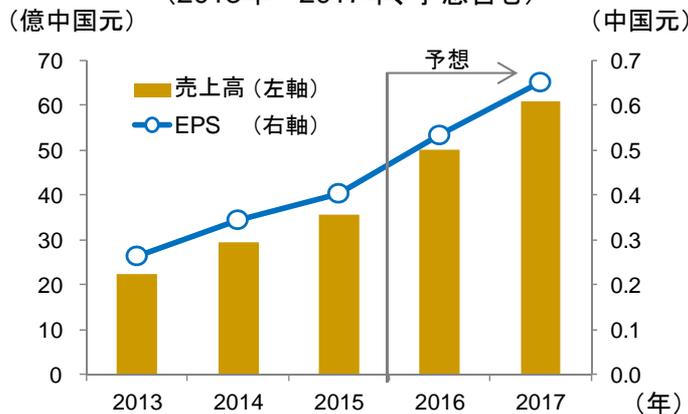
純利益  
(前年比)

-4.8%

2015年度(2015年1月-12月)の売上高および純利益はともに市場予想をやや下回りました。豊富な医学的知識を持つ営業員による医薬品販売が収益の大半を占めており、同社の成長をけん引しています。前年下半期に特別利益を計上した特殊要因により、当期純利益は前年比で減少したものの、当該要因修正後の純利益は前年比17.4%の増加となっています。

中国における最大の医薬品販売受託会社である同社は、医薬品の選別能力を活かし、実績を備えた強力な経営陣のもとで成長を続けることが期待されます。

＜売上高および調整済EPS(1株当たり純利益)＞  
(2013年～2017年、予想含む)



※2016年以降は2016年6月時点のコンセンサス予想

※ 香港市場上場企業には四半期決算の開示義務がなく、同社は2016年1-3月期の決算を開示していないため、最新の決算は2015年度(2015年1月-12月)のものとなります。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※売上高およびEPSは各企業の会計年度末の値(インド:3月末、中国:12月末)

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

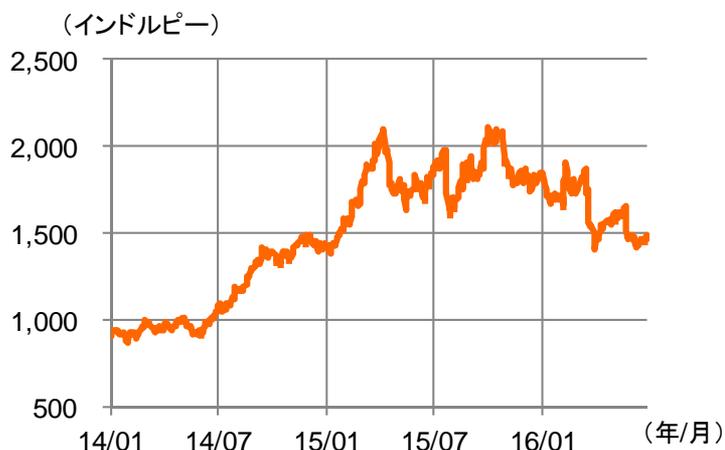
信頼できると判断したデータをもとに  
日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドからのコメントをもとに作成しています。

＜ご参考＞ 株価の推移(2014年1月初～2016年6月24日)

**ルピン**



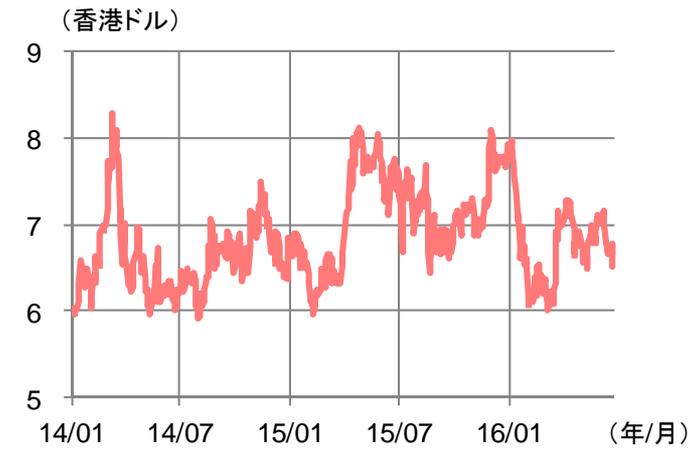
**シノファーム・グループ**



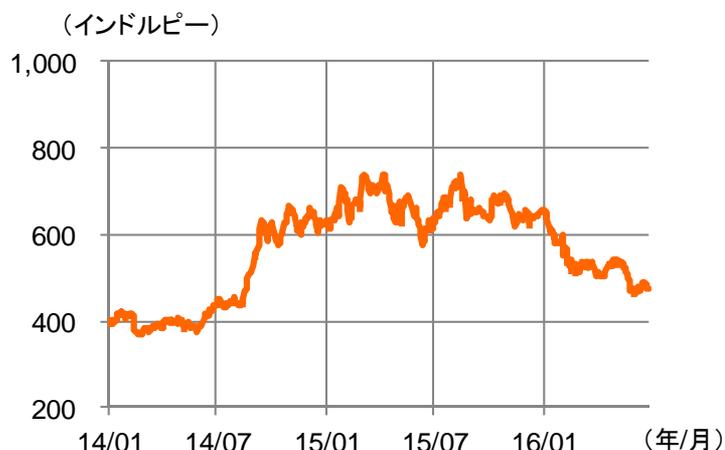
**オーロbind・ファーマ**



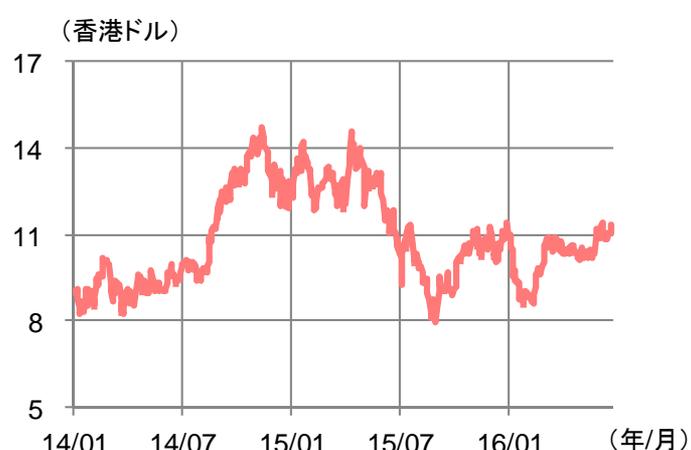
**石薬集団**



**シプラ**



**チャイナ・メディカル・システム**



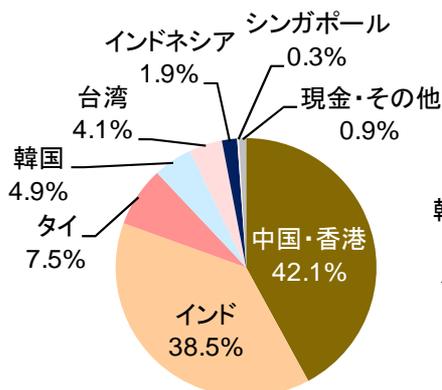
※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。  
 ※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。  
 ※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

信頼できると判断したデータをもとに  
 日興アセットマネジメントが作成

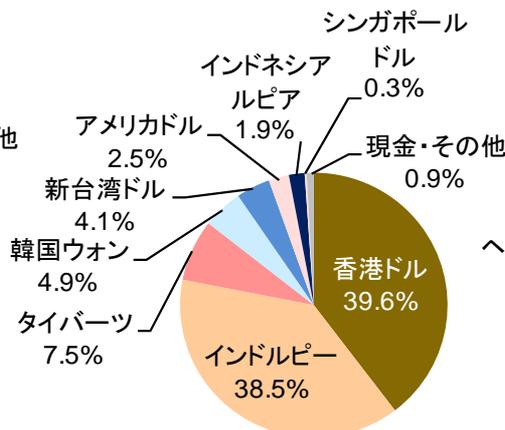
■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ヘルスケア株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの概況(2016年5月末現在)

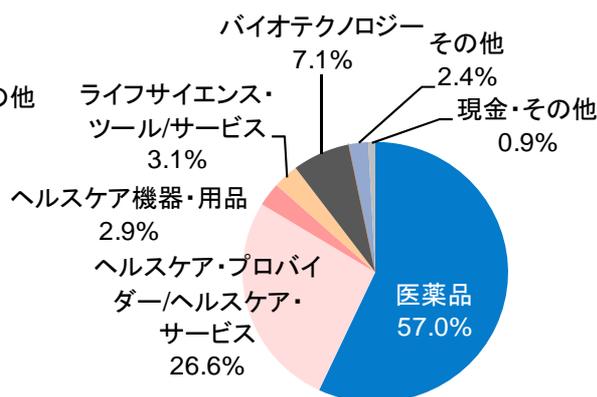
国別構成比率



通貨別構成比率



業種別構成比率



※上記数値は四捨五入しておりますので、合計が100%とならないことがあります。

### 【当ファンドの組入上位10銘柄】(組入銘柄数:32銘柄)

順位	銘柄	国名	業種	比率
1	LUPIN LTD ルピン	インド	医薬品	8.4%
2	SINOPHARM GROUP CO-H シノファーム・グループ	中国・香港	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	7.1%
3	SUN PHARMACEUTICAL INDUS サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	インド	医薬品	6.6%
4	AUROBINDO PHARMA LTD オーロビンド・ファーマ	インド	医薬品	6.4%
5	CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LT 石薬集団	中国・香港	医薬品	6.3%
6	CHINA MEDICAL SYSTEM HOLDING チャイナ・メディカル・システム	中国・香港	医薬品	5.8%
7	BANGKOK DUSIT MED SERV-I-NVDR バンコク・ドゥシット・メディカル・サービス	タイ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	5.5%
8	CIPLA LTD シプラ	インド	医薬品	5.2%
9	TWI PHARMACEUTICALS INC TWIファーマシューティカルズ	台湾	医薬品	4.1%
10	GLENMARK PHARMACEUTICALS LTD グレンマーク・ファーマシューティカルズ	インド	医薬品	3.3%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

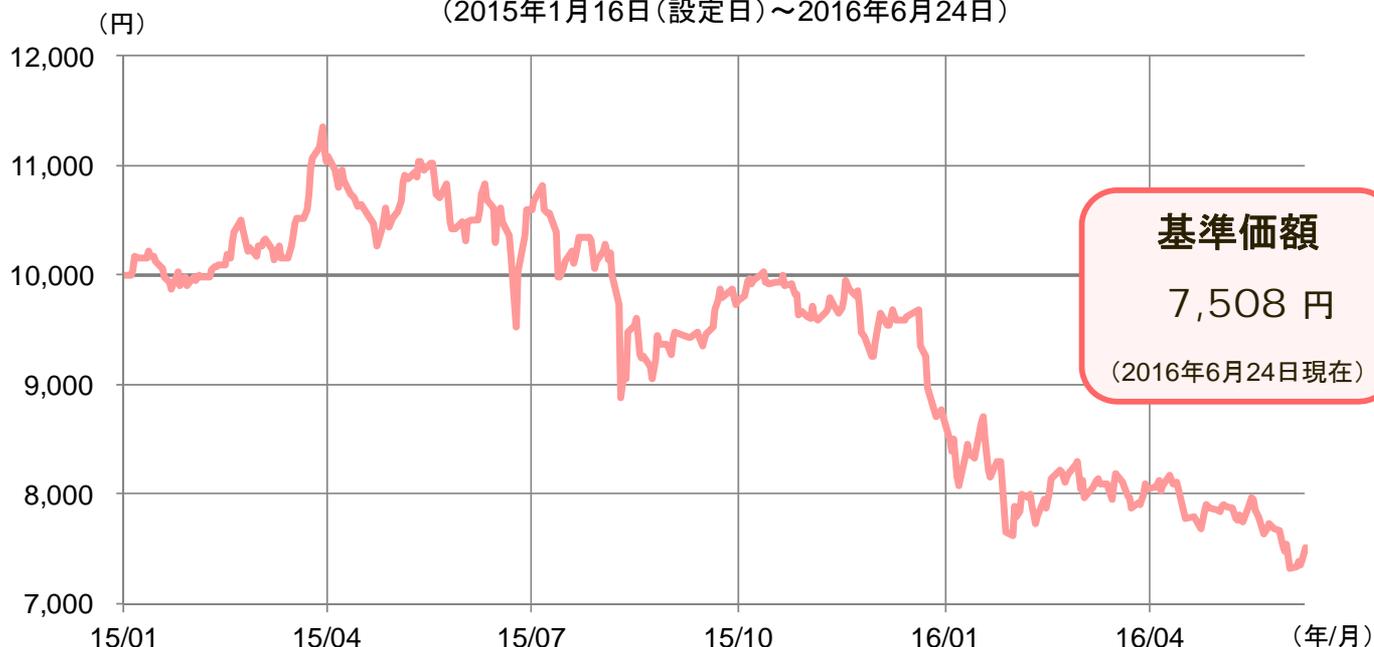
※上記はすべて当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド(JPYクラス)」における数値です。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ヘルスケア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 基準価額の推移

(2015年1月16日(設定日)～2016年6月24日)



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。  
 ※分配実績はありません。  
 ※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## ファンドの特色

- 1 中長期的に高い成長が見込まれる、アジア(日本を除く)のヘルスケア関連株式など\*を主要投資対象とします。 \*DR(預託証券)などを含みます。
- 2 医薬品メーカーに限らず、医療用機器やバイオテクノロジー、医療施設などの幅広い分野の企業を投資対象とします。
- 3 日興アセットマネジメント アジア リミテッドが実質的な運用を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みの際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

#### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様には「アジア・ヘルスケア株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社  
(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
[コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

**お申込メモ**

- 商品分類 : 追加型投信／海外／株式
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が下記のいずれかに該当する場合、もしくは、購入申込日から起算して6営業日目までの期間中に下記のいずれかが2日以上ある場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
・シンガポール証券取引所の休業日 ・シンガポールの銀行休業日
- 信託期間 : 2024年12月24日まで(2015年1月16日設定)
- 決算日 : 毎年6月21日、12月21日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が下記のいずれかに該当する場合、もしくは、換金請求日から起算して6営業日目までの期間中に下記のいずれかが2日以上ある場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
・シンガポール証券取引所の休業日 ・シンガポールの銀行休業日
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

**手数料等の概要**

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

**<ご購入時、ご換金時にご負担いただく費用>**

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

**<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>**

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.784%(税抜1.7%)程度を乗じて得た額  
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.134%(税抜1.05%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.65%程度となります。  
受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。  
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは**

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○		○	
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○		
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			
目黒証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社三菱東京UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
U B S証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2633号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様へ「アジア・ヘルスケア株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。